

身体から拡張する 建築・地域・社会の関係性をデザインする

研究内容

本研究室では、個々人の身体から派生する感覚や人と人の領域感、関係性まで考えを巡らせながら、建築・インテリアを中心とした実践的な設計に取り組んでいます。

設計は一人でを行うのではなく、構造・設備設計者はじめ、照明・家具・テキスタイル・ランドスケープなどのデザイナー、研究者など、各分野の専門家の知見を統合していく作業でもあります。空間が必要とされる様々な場面において、地域・社会における人びとの居場所や空間についてのリサーチと実践を伴った開かれた建築設計を展開していきます。

地域・産学連携の可能性

これまで以下のような実績があります。

(1) 地域での居場所づくりの設計・調査

- ・子育て家族の施設利用における空間的ニーズに関する調査
- ・家庭と地域をつなぐ公共空間の設計
- ・縮小社会における施設のあり方に関する調査、設計
- ・児童養護施設の建築計画研究者との既存施設の調査、設計

(2) 先進的な研究を展開していく際の実証実験空間の設計

- ・太陽光発電を搭載したEVステーションの設計
- ・直流給電を組み込んだ未来の住宅空間の設計

(3) 利用者の居心地の良さに配慮した医療空間の設計

(4) 公共空間でのコミュニケーションや居場所を生み出す什器・アートの設計

(5) アクティブな学びやコミュニケーションを促す学習空間の設計

(6) 模型づくりを通して建築への理解を深めるワークショップ



実証実験のための多目的EVステーション



将来を見据えて縮小・改築した愛媛県の集会所



植物と人が同居するアートとしてのベンチ

このテーマに関連するSDGs開発目標



建築学部 建築学科 建築設計、インテリアデザイン

錦織 真也 NISHIKORI Maya

准教授、修士（美術）

URL <https://www.rc-center.tohtech.ac.jp/department/project/gakunai/>
<https://www.tohtech.ac.jp/dept/teacher/arch/nishikorimaya/>

執筆論文

せんだいメディアテークにおける乳幼児と保護者の空間利用 乳幼児子育て家族の文化施設利用に関する研究 その1

著者名：平井百香 / 錦織真也 / 羽田光 / 石垣文 巻 号：2022, ページ：189-190, 年月次：2022-07, 建築学会, 学術講演梗概集



KeyWord

親子、居場所、公共空間、医療、クリニック、アート、福祉、実証実験